



長崎外国語大学

チャペル通信

編集・発行
長崎外国語大学
宗教部〒851-2196
長崎県西彼杵郡
時津町元村郷1010-1
TEL 095(840)2000
FAX 095(840)2001

VIA VERITS VITA 「わたしは道であり、真理であり、命である」(ヨハネによる福音書 14章6節)

チャペルアワー奨励から

ひびあら
「日々新たにされる」キリスト 日本基督教団 長崎鮑の浦教会 牧師 あき うら 大 薮 朝 祥 おお やぶ とも あき

「新しいぶどう酒を古い革袋に入れる者はいない。そんなことをすれば、革袋は破れ、ぶどう酒は流れ出て、革袋もだめになる。新しいぶどう酒は、新しい革袋に入れるものだ。そうすれば、両方とも長もちする。」

マタイによる福音書9章14-17節

みなさんは最近、テレホンカードを使うことがあるでしょうか？と言いますか、もしかしたらテレホンカードそのものを見たことがないという人もいるかもしれません。

10数年前には、今のように携帯電話を誰もが持っているという世の中ではありませんでしたので、外出先から電話をかける際には、テレホンカードを使って公衆電話から電話をかけていました。私自身携帯電話を使い始めたのは、16年前の阪神・淡路大震災の後からでしたが、当時は携帯電話の電話料金も高く、外出先から会社に電話をするときは、よほどのことがない限りテレホンカードを使って電話をかけていました。

ですが最近は、テレホンカードの使える公衆電話自体が少なくなってきたため、つつい携帯電話を使うことが多くなってきました。そう考えると、携帯電話にせよパソコンにせよ、この10何年で急速に発展した技術ですが、使う側の人間がその速さに追いつけないほど、技術の進歩にはめざましいものがあります。本当に、私の子どもの頃には空想の世界でしか語られなかったような技術が、実現しているということを目の当たりにしますと、人間の進歩する力というのはすばらしいと思う反面、行

き過ぎた科学は逆に人間を不幸にしてしまうのではないかという不安も覚えてしまいます。携帯電話にしてもパソコンにしても、うまく利用すれば、私たちの生活をとても便利に、豊かにしてくれるものですけれども、一方でそればかりに頼ってしまいますと、これまで大切にされてきた人間同士の本当のふれあいというものが、なくなってしまうことになりかねません。

このように新しいものが生まれてくるということは、どこかで古いものが違うものへと変えられていくという事態を引き起こします。そんな中、古いものをそのまま保ち続けようとする、どこかで無理をしてしまうということもあるかもしれません。

この聖書の箇所での話の発端も、そのような古いものが新しいものの出現によって変えられていくことの不安というものが根底にあるのではないかと思います。

ここでは新しい布切れと新しいぶどう酒のたとえが語られていますが、これは古いものが新しいものによって突き破られるということを示しています。つまり古いものは、律法や断食というこれまで当たり前だと思われてきた決まりごとを指しますが、それら古いものがイエス様の福音という新しいものに

よって、変えられていくということです。

さらにイエス様がもたらしてくれた新しいぶどう酒とは、病に苦しむ人々を癒す力、罪を赦す十字架の贖い、死を打ち砕く復活の力、人を新しく造りかえる聖霊の導きです。そしてこの新しいぶどう酒を入れるためには、古い律法主義ではなく、新しいイエス様の福音という皮袋が必要であると聖書は訴えます。

イエス様と共に生きるということが私たちに与ったの新鮮さであり、それは日々私たちを新たにしてくれています。だから私たちは、日々新しい命を生きること、これまでのやり方が本当に正しいのかどうかということを、問いただしていかなければなりません。特に今の時代は、新しいものが次々に生

まれ、それが人々に浸透する頃にはなくなってしまうということが多々あります。

しかし、私たちに与った、絶対に変わらないものがあります。それはイエス様の愛です。イエス様が、古い、罪に縛られた私たちを解放し、自由と喜びをもって生きることができるようになってくださった、そのことだけは決して変わることがありません。そしてその中で私たちが、日々新たにされていることを自覚し、おのれの罪を悔い改めることによって神様の恵みを受け入れ、神様と共に歩むものとされていきます。その恵みに深く感じ、今この瞬間も新しくされているのだという喜びを持って、これからの新しい歩みをともにすすんでいきましょう。

(2011年10月5日)

+++++



こやのこうへい 初代理事長 古屋野宏平先生の足跡をたどって

あわ ひろし
栗屋 曠

私たちは2011年12月3日に学校法人長崎学院創立65周年記念式典を行いました。

理事長挨拶のなかで65年間の間、今日の長崎学院・長崎外国語大学の地位を築いて下さった青山武雄先生をはじめとする先人の方々に対して深甚なる敬意と衷心からの感謝を申し上げました。本学が創立のビジョン・精神を継承していく組織体であるならば、創業者の方々の理念・精神は語り伝え続けられなければならないと思います。

機会を頂きましたので、初代理事長古屋野宏平先生のご紹介をいたします。

先生のプロフィール

・1886(明19)年9月生まれ、出生地は備中、倉敷の近く現在の岡山県都窪郡早島町。岡山中学時代、校長の感化を受け、キリスト教に出会い、岡山教会で洗礼を受けられました(当時15歳)。旧制第五高等学校(現在の熊本大学)では五高YMCA寮「花陵会」で寮生として過ごされ、キリスト者として奉仕活動にもご熱心で、1908(明治41)年長崎医専YMCA浦山寮設立の際「そのとき、熊本から応援に来た、その折の長崎の印象

は強烈であった」と話されています。「花陵会」での奉仕活動のご経験が昭和14年の中国蕉湖でのYMCA医科連盟による医療奉仕に繋がったともいえます。

- ・京都帝国大学医学部を卒業後、京都大学から1922(大正11)年9月、長崎医科大学(1923年4月発足)の前身・長崎医専教授として赴任された(36歳)。
- ・1945(昭和20)年8月22日から1948(昭和23)年1月23日まで、角尾学長被爆死の後事を託され長崎医科大学学長に就任(58～62歳)。
- ・1952(昭和27)年11月から1958(昭和33)年11月まで、長崎大学学長に就任(66～72歳)。
- ・1968(昭和43)年長崎市名誉市民に顕彰される。
- ・1976(昭和51)年1月20日昇天(89歳)

長崎学院関係

理事長として、初代は1951(昭和26)年3月～1952(昭和27)年6月(就任時65歳)、また4代目として1974(昭和49)年2月～1976(昭和51)年1月20日、87歳から昇天の日までの二度に亘って務めて頂きました。

原爆と長崎医科大学の再建

1945年8月9日11時2分長崎に原子爆弾が投下され、長崎医科大学は壊滅的な被害を受け、原爆被爆犠牲者は角尾学長の他職員、学生897に上った(平成8年8月調査)。「1945年8月9日余等長崎医科大学全員八人類史上空前ノ科学的驚異ナル原子爆弾ヲ体験シタ。から始まる「醫師トシテノ原子爆弾体験記録」(長崎醫科大學長事務取扱 古屋野宏平著)には続いて、「我等当時学内現場ニアッテ奇跡的二生命ヲ完クシタ代表的医師数名ノ体験記ヲ綴リ此ノ空前ニシテ恐ラク絶後タル可キ記録ヲ残サントスル次第デアル。と被爆時の様子が克明に書かれています。またNBC長崎放送で1969(昭和44)年3月8～13日に放送された「被爆者の証言」のなかで、至近距離被爆、妻への輸血、大学復興にかけた2年半の激務など、よく生きてこられたとふり返っております。

俳号「鐘雨」、『篤信楽道』のこと

おち ば かき
落 葉 搔

古屋野 鐘雨

大川周明君は生前「春色無高下、花枝自短長」という語を書いてくれた。なるほど世の様ななんとなくそのような気がして、含蓄に富む語と思い大切にしている。

ところが当節はどうも世の中の調子が狂って、短長転倒の様相がみられる。学生が大学を管理し事と次第では先生を打擲し兼ねない。かかる世に処するすべはいかにあるべきか、皆目見当もつかない。

ここで思い出される俳人蕪村の句がある。

西吹けばひがしにたまる落葉かな

さすがになんの屈託もなく、おおげさに言えば真理を道破している。バリで吹き、メキシコに吹き、今や世界を吹きまくらんとしている。これに対しては、各人応分の熊手を持って根気よく搔くよりほかに手はあるまい。

許六は

寒山と拾得とよる落葉搔

と詠じているが、美しい画題である。決して悲観し

て短期に投げやってはならない。

落葉して汝も白になる木かな

も真である。ではいったいこの際の熊手は何か。聖書の中に採って見つけた。

「愛は寛容であり、愛は情深い。またねたむことをしない。愛は高ぶらない。誇らない。不作法をしない。自分の利益を求めない。いらだたない。恨みをいだかない。不義を喜ばないで真理を喜ぶ。そしてすべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを耐える。愛はいつまでも絶えることがない。」

(コリント人への第一の手紙 13章 4-6節)

今の世は愛にかけている。

(『長崎市医師会報』3巻1号、昭44・1月)

思想家の大川周明は古屋野先生と第五高等学校での同級生でした。この「落葉搔」が書かれた当時は、全国の大学で学園紛争が発生、44年1月には安田講堂事件があり、機動隊導入による解除が相次ぎました。長崎大学も埒外ではありませんでした。

古屋野先生の俳号は「鐘雨」です。長崎大学第二外科の同門会は鐘韻会と称しています。今もなお古屋野先生の思いが同門の方々に受け継がれている思いをしています。

「篤信楽道」は古屋野先生の座右銘とご自身でも述べておられます。「自分を取り巻く恵みに感謝する心は信仰で、これを篤くすること、人の歩むべき道を正しく進むことこそ無上の楽しみであり、この境地に達したい念願からこの言葉を選ばれた」とある掲載誌に記されていたそうです。先生は信仰篤き人でした。そのお姿を「落葉搔」にお出しになった聖書の言葉ですが、「コリント人への第一の手紙」第13章全体に流れる「聖書の言葉」に原爆の日以降持ち続けられた大切な宝があるように思えてなりません。ご多忙の中、我が長崎学院・長崎外国語大学に頂戴した大きな愛の奉仕にこたえ、先生の心と志を受け継ぐ者となれるよう努力していきたいと思っています。(理事長)

参考文献 『原爆復興50周年記念長崎医科大学原爆記録集』(5)
『篤信楽道』—我が半世紀の長崎—
NBC長崎放送『被爆者の証言』(第12、13回)
『ながさきYMCA戦後35年の歩み』
『チャペル通信』(14号)2005年3月11日



な むら まり こ
名 村 真理子

私は^{ホンコン}香港で働いているときにクリスチャンになりました。もともとクリスチャンになるつもりは全くなく、教会で何かボランティアワークでも紹介してくれるのではないかなという軽い気持ちで、新聞の日曜版で見つけた教会（Japanese Christian Fellowship）へ出かけてみました。何回か行くうちに、なぜか聖歌隊のメンバーになり、聖歌隊の練習が楽しかった事と、練習の後に皆で行く飲茶がおいしかったので（笑）、定期的に教会に通うようになりました。その後いろいろと不思議な出会いがあり、教会に通いだして3年目に洗礼を受けることになりました。洗礼を受けてから約20年、私がずっとクリスチャンでいられたのは、ひたすらよい教会に恵まれたおかげだと感謝しています。

香港から帰国して東京で働いているときには、新宿区^{よどばし}の淀橋教会に通っていました。ここはたぶん日本のプロテスタントの教会で一番大きな教会ではないかと思います。現在300人を超える礼拝出席者があります。日本語以外にも、英語、中国語、韓国語のグループがあり様々な活動を行っています。

また、実家のある名古屋にいたときは、家の近くの^{ふじ おか}藤が丘教会に通っていました。ここは30-40人と日本の平均的な教会のサイズですが、幼児からお年寄りと年齢層の幅が広く、カナダからの宣教師もおられ活気のある教会です。牧師先生はアメリカで牧会経験もあり、私のアメリカ留学中には、いろいろとアドバイスいただき大変助かりました。

現在は、長崎バプテスト教会に通っています。この教会は、長崎の子供達が歌った『キミは愛されるため生まれた』と『ビリーブ』のCDを東北大地震の被災地の学校に送る活動をしています。私がまだ長崎に来る前にその活動でお世話になった経緯がありましたので、長崎に着いて最初の日曜日に、お礼方々ご挨拶に伺ったところ、様々な国籍の方がおられ、とても明るい雰囲気教会なのですっかり気に入ってしまいました。牧師先生の説教もとても力強く、いつも励まされています。シンプルでわかりやすい説教は、アメリカの有名な牧師リック・ウォレン（オバマ大統領の就任式の開会の祈祷をした）の説教に似ている感じがして、先生にそう伝えたところ、「リック・ウォレンはこの教会にいたことがあるのですよ」と言われ驚きました。

長崎では、先日もカトリックとプロテスタントの一致礼拝が行われましたが、長崎の教会が、日本のキリスト教界に何か新しい風をもたらしてくれるのではないかと期待しています。キリスト教との関わりの深い長崎で、すばらしい教会にめぐり合うことができて本当に感謝です！

（国際交流センター 職員）

おことわり

「イエス・キリストのことばとわたし」は、スペースの都合で割愛させていただきました。（ここに）

オリジナル商品 長崎版 一筆箋

長崎の観光の思い出を伝えるおみやげとして、又、贈物に添えるメッセージカードとしてご利用下さい。

教会編 各6種類(封筒付) 定価 350円(税込)	観光地編 各5種類 定価 300円(税込)	坂本龍馬編 定価 300円(税込)
--	--------------------------------------	------------------------------

問い合わせ先 九州印刷株式会社 〒852-8103 長崎市緑町4番5号
TEL:095-846-6844 FAX:095-846-6845 E-mail:kyushu.p@ymt.bbiq.jp

キリスト教書店ハレルヤ

〒862-0971 熊本市大江4-20-23

TEL 096-372-3503 (FAX共用)

E-mail:k-haleruya@earth.ocn.ne.jp

映

画

紹

介

『私は告白する』 (I Confess)

ワーナー・ブラザース制作

1953年 アメリカ

やま かわ きん や
山 川 欣 也

監督はアルフレッド・ヒッチコック (Alfred Hitchcock)。原作は百年以上前のフランスの作家ポール・アンセルム (Paul Anthelme) の戯曲ですが、カナダのケベックが映画の舞台。冒頭、川面から眺めた街の様子を背景にクレジットが入る。しかし、カメラが逆光で街が暗く陰鬱な感じがする。にもかかわらず、バックで流れるティオムキン作曲の音楽は何となくロマンティックで、何だかなあ。なお、ヒッチコック映画恒例のお楽しみはお見逃しなく。

街路にある「DIRECTION」の標識に導かれ、カメラに誘われるように開いた窓から部屋の中を除くとそこには男性 (ヴィレット) の遺体が横たわり、私たちはさらに神父の服装をした男の姿を闇の中に目撃する。彼は僧衣を脱いで、あるカトリック教会に入っていく。その教会の神父館の窓から彼を目撃した神父 (ローガン) が主人公 (Montgomery Clift) となる。ローガン神父は教会に入ってきた不審な人物をこの時点では特定できず、その人物を確認しに聖堂へ行くと、そこにはこの教会で働く男ケラーがいた。彼は告白したいことがあるとローガンに訴え、二人は聖堂内の告解室 (いわゆる懺悔する部屋) に入る。そこでケラーはヴィレットを殺害した犯人は自分であると告白した。ローガンは愕然とする (いろいろな意味で) が、もちろん、神父である彼はこの「赦しの秘跡」を漏らすことは出来ない。殺人事件として警察の捜査が始まり、目撃証言や状況からローガン神父に強い嫌疑がかけられ、おまけに「○■▽◎」る事態になるのだが、果たして……。

【以降、未見の人は観てから読んで下さい】

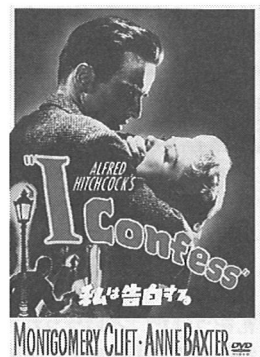
犯人捜しのミステリーやサスペンスではない (犯人は最初にわかってしまうので『刑事コロンボ』タイプ?) ので、ローガン神父自身がサスペンスにならざるをえず、故に観る者の最大関心事は、疑いをかけられた神父が知っている真犯人を「言う」か「言わない」か、になるだろう。有り体に言えばこの場合「チクル」かどうか、もっと言えば守秘義務のあ

るローガン神父が、自分のおかれている状況からどのような行動をとるかである。自分の嫌疑をはらすのか否か。結局、彼は「告白する」ことはないのだが……。

さて、こうしたプロットであるからこそ、某は、やはり作品が制作された1953年がどうにも気になってくる。この時期は冷戦体制確立期における、何度目かの共産主義者への「赤狩り」のピークで、マッカーシズムとして知られる。目を付けられた人々は「(共産主義者の) 名前を言え (naming names)」と当局から脅迫され吊し上げられた。もちろんフレームアップで事実無根であっても、これを拒否すれば共産主義者のレッテルを貼られ、社会的信用を喪失し、あらゆるものを失った。映画公開当時の人々には、こうしたローガン神父の行動はどのように見えただろうか。脚本の段階では、彼は死ぬことになっていたそうだが、検閲によってその結末は書き換えられた。これは何を意味しているだろうか。

秘密の保持と秘密の告発は視点の置き方で逆転する。例えば、視点を「正義」と置換したらどうだろうか。守秘義務により何かが闇に葬られ、告発によって何かが開示される。絶対的「正義」はあり得ないかもしれないが、時代が「正義」のとり方の必然性を許すことはあり得ると思う。今日でもこの映画のテーマは生きている。

余談ですが、映画を見ながら、知っている犯人を言えないとローガンが懺悔し、それを聞いた別の神父がまた懺悔し、さらにまた……っていうモンティ・パイソンのスケッチのドタバタ・コメディが出来そうな気がしたのですが、どうでしょう。(現代英語学科 教授)



2011年度 チャペルアワー等の記録

チャペルアワーは 毎週水曜日 午後12:40~1:00

(春学期)

回	月 日	奨 励 題	聖 書	奨 励 者
宗教オリテ	4月4日	も と め な さ い	マタイ 7. 7-8	小西 哲郎 宗教主任
1	4月13日	陽 の 当 た る 場 所	マタイ 11. 28	原 和人 牧師 (長崎銀屋町教会)
2	4月20日	神は知っていてくださる	詩編 139. 1-8	森島 豊 牧師 (長崎平和記念教会)
3	4月27日	束縛から解き放たれたとき	マタイ 6. 25-31	金 珍熙 牧師 (長崎馬町教会)
4	5月11日	鹿が水を求めるように	詩編 42. 2-7a	三浦 功 牧師 (ナザレン 諫早教会)
5	5月18日	ザアカイ急いで降りてきなさい	ルカ 19. 1-10	小西 哲郎 宗教主任
6	5月25日	新 し い 基 準	マタイ 5. 43-45	金 珍熙 牧師 (長崎馬町教会)
7	6月1日	神 様 は 見 て い る	マタイ 6. 16-18	大薮 朝祥 牧師 (長崎飽之浦教会)
8	6月8日	愚かなふるまいに戻らないように	詩編 85. 9-14	堀尾 憲孝 司祭 (長崎聖三一教会)
9	6月15日	どんなことでも、思い煩うのはやめなさい	フィリピ 4. 4-7	濱田 道明 牧師 (ルーテル 長崎教会)
10	6月22日	私たちにとって、真珠とは	マタイ 13. 45-46	金 珍熙 牧師 (長崎馬町教会)
11	6月29日	時は神が作り、時計は悪魔が作った	伝道の書 3. 1-11	高橋 勇造 理事 (長崎外大)
12	7月6日	神が召しておられる道	使徒 16. 6-10	三浦 功 牧師 (ナザレン 諫早教会)
13	7月13日	放 蕩 息 子 の 父	ルカ 15. 11-24	高江洲伸子 牧師 (長崎めぐみ教会)
14	7月20日	知 恵 の 始 め	箴言 1. 1-7	金 珍熙 牧師 (長崎馬町教会)

(秋学期)

回	月 日	奨 励 題	聖 書	奨 励 者
1	9月28日	ヒ ー ロ ー 大 集 合	マタイ 5. 43-44	原 和人 牧師 (長崎銀屋町教会)
2	10月5日	日々、新たにされる	マタイ 9. 14-17	大薮 朝祥 牧師 (長崎飽之浦教会)
3	10月12日	あなたは一人ではない	創世記 1. 26-27	森島 豊 牧師 (長崎平和記念教会)
4	10月19日	実 を 結 ぶ こ と	ヨハネ 15. 5	金 珍熙 牧師 (長崎馬町教会)
5	10月26日	その中で最も大いなるものは愛である	1コリント 13. 1-13	高江洲伸子 牧師 (長崎めぐみ教会)
6	11月2日	理屈を超えた恵み	マタイ 20. 1-16	土居 智典 准教授
7	11月9日	からし種に似ている	ルカ 13. 18-19	高橋 勇造 理事 (長崎外大)
8	11月16日	いつも喜んでいなさい	ルカ 15. 25-32	石川 昭仁 学長
9	11月30日	わたしの人生の転換点	ローマ 6. 23	碓井 秀司 牧師 (インマヌエル 長崎教会)
10	12月7日	救い主のおられる所	ルカ 2. 8-15	福田 英樹 牧師 (長崎教会)
11	12月14日	神 は 忘 れ な い	ルカ 1. 39-56	濱田 道明 牧師 (ルーテル 長崎教会)
クリスマス	12月22日	ク リ ス マ ス の 奇 跡	ルカ 2. 8-12	原 和人 牧師 (長崎銀屋町教会)
12	1月11日	だから、わたしたちは落胆しません	2コリント 4. 16-18	堀尾 憲孝 司祭 (長崎聖三一教会)
13	1月18日	よ く な り た い か ?	ヨハネ 5. 1-9	小西 哲郎 宗教主任
14	1月25日	思 い 悩 む な	マタイ 6. 25-34	藤井 清邦 牧師 (長崎古町教会)

編集後記

題字から「短期大学」がなくなり、誌面もよこがきに
うまかわった『チャペル通信』第21号をおとどけしま
す。ご寄稿くださったみなさまに感謝もうしあげます。

チャペルアワーの説教のご奉仕をしていただいている
牧師から、本学の卒業生がその牧師が司牧する教会で洗
礼を受けた、といううれしい知らせをききました。いま
から34年まえの短大の卒業生であるこのかたは、本学で

キリスト教とはじめてであいい (ちなみに当時の宗教主
任は山本敏明先生)、その後のとしつきをへて、教会へ
とみちびかれたのでした。まかれてすぐに芽をだすと
はかぎりませんが、よい土地におちたタネは実をむす
んで百倍にもなるといわれています (マタイ13.8)。
本学のはたらきがそのタネまきの一助となるなら、そ
れにまざるよろこびはありません。(こにし てつろう)